

ドル円、139 円台に急伸

GLOBAL MARKETS RESEARCH

リサーチアシスタント 齋藤 賢斗

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 4(2022)年 7 月 15 日

前営業日の市況

ドル円は安値圏 137.63 で寄り付いた。前日公表の米消費者物価指数 (CPI) の加速を受け、7 月 FOMC での 100bp の利上げを織り込むドル高地合いのなか、仲値公表後には 138 円台に上昇。さらに、シンガポール、フィリピン各中銀が急遽金融引き締めを決めたことで、内外金融政策格差を意識した円売り圧力が強まると、高値 139.38 まで急上昇した。その後は、高値警戒感もあって上昇一服。6 月の米生産者物価指数が予想を上回る伸びを示したことから、再び高値付近まで上昇する場面もあったが、FRB 高官らの発言を受け 139 円を割り込むと、138.93 で引けている。なお、ドラギ伊首相が辞任を表明。ユーロドルは再びパリティ (等価) を割り込み、0.9952 まで下落する場面があった。

本日のポイント

ウォラーFRB 理事は昨日、CPI の結果も踏まえたうえで 7 月 FOMC での 75bp の利上げを支持した。このため市場で台頭していた 100bp の利上げ期待は一旦後退している。ただ、本日の 6 月の米小売売上高や、来週の住宅関連指標如何では 100bp の引き上げもあり得るとしており、ドル高に振れやすい地合いは続いているとみるべきだろう。ドル円も小売統計の内容次第では 140 円を試す展開となり得よう。

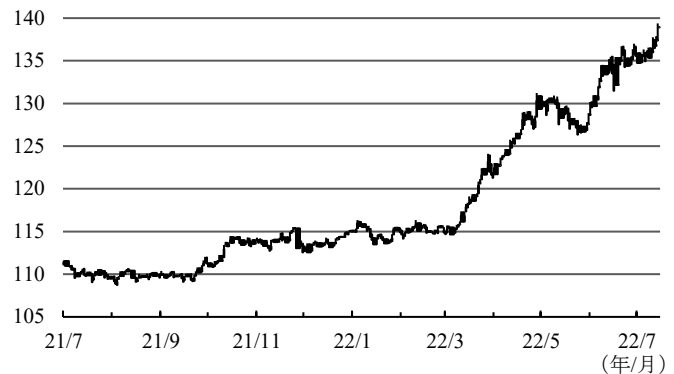
本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
138.50~139.50	0.9950~1.0080	138.50~140.00

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

市況データ

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/JPY	137.63	139.38	137.60	138.93
EUR/USD	1.0034	1.0066	0.9952	1.0023
EUR/JPY	138.12	139.75	137.99	139.22
GBP/USD	1.1863	1.1880	1.1761	1.1826

	終値	(前日比)
日経平均	26,643.39	+ 164.62
ユーロストック 50	3,396.61	- 57.36
FTSE100	7,039.81	- 116.56
ダウ工業	30,630.17	- 142.62
ナスダック	11,251.19	+ 3.61
上海総合指数	3,281.74	- 2.55
CRB 商品指数	273.26	- 4.67
WTI 原油先物	95.78	- 0.52
金先物	1,705.80	- 29.70
VIX 指数	26.40	- 0.42

	2年	(前日比)	10年	(前日比)
日本国債	-0.057 %	0.017 %	0.238 %	0.006 %
独国債	0.523 %	0.065 %	1.178 %	0.033 %
米国債	3.135 %	-0.023 %	2.962 %	0.027 %
英国債	1.962 %	0.164 %	2.101 %	0.041 %

	終値	(前日比)
無担保コール O/N	-0.007 %	+ 0.000 %
ユーロ円金利先物	99.990 p	+ 0.000 p
TONA 複利(後決め)6ヵ月	-0.01834 %	+ 0.00007 %
円-TIBOR6ヵ月	0.13636 %	+ 0.00000 %
米国 FF Rate	1.58 %	+ 0.00 %
米国 TB3ヵ月	2.3249 %	+ 0.0101 %
USD-LIBOR6ヵ月	3.38129 %	+ 0.32029 %
EURIBOR6ヵ月	0.44800 %	+ 0.08500 %
SONIA 複利(後決め)6ヵ月	0.71520 %	+ 0.00550 %

※「米国 FF Rate」のみ as of 7月13日、「TONA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 2022年1月14日、「SONIA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 同年1月18日

(出所)為替のデータは弊行4本値、その他のデータは Bloomberg

※OPENは日本時間午前9時、CLOSEは日本時間翌日午前7時。

(米国夏時間は日本時間翌日午前6時)

前営業日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	結果
21:30	米	生産者物価指数(前年比、6月)	10.7%	11.3%
21:30	米	新規失業保険申請件数(7/9・万件)	23.5	24.4

本日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	前回
11:00	中	実質 GDP(前年比、Q2)	1.2%	4.8%
11:00	中	鉱工業生産(前年比、6月)	4.0%	0.7%
11:00	中	小売売上高(前年比、6月)	0.3%	▲6.7%
11:00	中	都市部固定資産投資(前年比、6月)	6.0%	6.2%
21:30	米	ニューヨーク連銀景況指数(7月)	▲2.0	▲1.2
21:30	米	輸入物価指数(前年比、6月)	11.4%	11.7%
21:30	米	小売売上高(前月比、6月速報)	0.9%	▲0.3%
22:15	米	鉱工業生産(前月比、6月)	0.1%	0.1%
22:15	米	設備稼働率(6月)	80.8%	80.8%
23:00	米	ミシガン大消費者信頼感指数(7月速報)	50.0	50.0

時刻	地域	イベント
12:35	日	20年物国債入札
23:00	ユ	ポルトガル中銀センチノ総裁講演
0:00	米	ウォラールFRB理事討論会

※時刻は東京時間、市場予想は Bloomberg 調査中央値

時刻	地域	イベント
		G20 財務相・中央銀行総裁会議(～16日)
21:45	米	アトランタ連銀ボスティック総裁討論会
22:00	米	セントルイス連銀ブラッド総裁討論会

照会先：三菱UFJ銀行 グローバルマーケットリサーチ チーフアナリスト 井野 鉄兵

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。

当行は、当資料において言及されている会社と関係を有し、又はかかる会社に対して金融サービスを提供している可能性があります。当行のグループ会社は、当資料において言及されている証券又はこれに関連する証券について権利を有し、又はこれらの証券の引受けを行っている可能性があります。また、これらの証券又はそのポジションを保有している可能性があります。

当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

(株式会社三菱UFJ銀行ロンドン支店のみに適用される情報開示)

株式会社三菱UFJ銀行(以下「MUFG Bank」)は、日本で設立され、東京法務局(会社法人等番号0100-01-008846)において登記された有限責任の株式会社です。

MUFG Bankの本店は、東京都千代田区丸の内二丁目7番1号(郵便番号100-8388)に所在しています。

MUFG Bank ロンドン支店は、英国会社登録所において、英国支店として登録されています(登録番号BR002013)。

MUFG Bankは、日本の金融庁によって認可及び規制されています。MUFG Bank ロンドン支店は、英国ブルーデンス規制機構より認可を受けており(FCA/PRA 番号139189)、英国金融行為監督機構の規制とブルーデンス規制機構の限定された規制の対象となっています。英国ブルーデンス規制機構によるMUFG Bank ロンドン支店の規制の範囲の詳細は、ご請求いただいた方にお渡ししております。